

清水町 町名変更に関する住民説明会 要旨

令和8年3月2日（月）13:00～14:20

羽帯福祉館

出席者：5名

説明員：・町長、鈴木企画課長

事務局：佐藤企画課長補佐、大和田企画統計係主査

1 開会

2 町長あいさつ

3 情報提供

別紙資料について説明（鈴木課長）

4 意見交換

○メリットデメリットの部分は、時間をかければもう少し正確な数字が出るのではないかと。賛成か反対か判断がつかないまま住民投票になってしまうのに不安がある。町名変更にかかる費用を使って、違うこともできるのではないかと。

→（町長）

他の事業を止めるなど、どこかを犠牲にすることはしない。優先順位をつけて方針を組んでいろいろなことを進めている。システム変更には1億円がかかってしまうが、これは将来に向けた投資であり、町名変更は目に見えないインフラだと思っている。町名はまちの入り口であり、デジタル上の看板であると考えている。基盤整備を行い名前を露出して企業誘致につなげたい。

○町に人口が多ければ幸せだった時代から、外向けにPRが必要な時代となった。わかりやすい看板に変えることが、町を認知してもらって、人を呼ぶことに繋がると思う。

→（町長）

町名という看板を変更することによって、どこにあるのか、どういった場所なのか想像しやすくなるため、わかりやすい町名にすることが有効だと思っている。

○財政的に厳しい時代があったが、やっと今は落ち着いたところだと思っている。そういう時代を知っているから、大きなお金をかけることが心配である。現状維持して欲しい気持ちがある。

→（町長）

過去に厳しい状況があったことは承知している。施設の老朽化などは優先順位をつけて順次対応していく予定であり、まずは御影公民館の建て替えを進めていきたい。現状維持のままでは、今の人口減少の時代において、町が埋もれていってしまう危機感がある。

○町名変更後にまち全体のPRが出来たとしても、観光施設も少なく町が追い付かないのではないか。

→（町長）

まだまだ埋もれている素材もたくさんあると思っている。今後さらにPRしていきたい。

○まちに実際来てもらっても宿泊施設が少ないため、結局他町村にお金が流出してしまうと思う。

→（町長）

宿泊施設について、現状不足している状況は理解しているが、御影地区に今後宿泊施設が出来るとも予定などもある。どちらかが先に動かないと何も進まないと考えている。

→（企画課）

経済効果については、日帰り客の単価で計算している。

○町をPRするためには、切り口を変えて一つのことに精通し、とがった人材に来てもらう必要も今後あると思う。

→（町長）

個人で情報発信できる時代になったため、その分野に精通している人に来てもらって、効果的にまちの宣伝をしてもらえるような更なる取り組みについても今後検討していきたい。

5 閉会